

自然科学研究科物理学専攻 博士後期課程

入試区分	評価方針
一般入試	大学院修士課程又は相当する研究機関において学んだ専門的知識、技術並びに取り組んだ研究内容が、優れて高度な研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び研究に関する口頭試問によって評価します。
社会人入試	修士論文及び企業等における研究業務実績が、物理学専攻の優れて高度な研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と口頭試問によって評価します。
外国人留学生入試	日本の大学院修士課程に相当する研究機関において取り組んだ研究が、物理学専攻の優れて高度な研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と口頭試問によって評価します。
国費外国人留学生(大学推薦)	文部科学省が募集する国費外国人留学生として本学が推薦する者について、日本の大学院修士課程に相当する研究機関において研究した内容が、より高度で独創的な物理学専攻での研究へと発展していけるかどうかを、出願書類と修士論文や研究計画に関する口頭試問によって評価します。